

好きな
一冊と
出会う
手紙



香川県教育委員会

はじめに

読書は、自分の知らない世界や、自分が会うことのない人たちの生き方を教えてくれるだけでなく、美しい文章や優れたストーリーが、子どもたちの知性を磨き、感性を豊かにしてくれます。

「好きな一冊と出会う手紙」は、さまざまな分野で活躍されている香川ゆかりの方々が、子どもたちに、人生をより豊かに生きて欲しいという思いを込めて、自分の心に残っている本や子どもたちに読んで欲しい本への思いを綴ってくださいましたものです。

大変お忙しい中、本県の子どものために、快くお手紙を書いていただいた皆様に、心から感謝申し上げます。

この小冊子を受け取った子どもたちが、生涯のかけがえのない友となる「好きな一冊」と出会い、心豊かに成長することを願っています。

平成十八年二月

香川県教育委員会

目次

■ 香川の子どもたちへ

小柴昌俊 (物理学者)

1

■ 小学校四・五・六年生の皆さんへ

池原昭治 (童絵作家)

3

川井郁子 (ヴァイオリニスト・作曲家)

5

高畑淳子 (女優)

7

■ 中学生の皆さんへ

中野美奈子 (アナウンサー)

9

松家卓弘 (プロ野球選手)

11

脇明子 (翻訳家)

13

■ 高校生の皆さんへ

芦原すなお (作家)

15

石毛宏典 (四国アイランドリーグ代表)

17

林康子 (オペラ歌手・声楽家)

19

小柴昌俊（物理学者）



東京大学特別荣誉教授、東京大学素粒子物理国際研究センター参与、財団法人平成基礎科学財団理事長。
 一九二六年生まれ。愛知県出身。一九五一年東京大学理学部物理学科卒業、一九五五年ロチェスター大学大学院修了。
 二〇〇二年ノーベル物理学賞を受賞したほか、ドイツ大功労十字章、仁科記念賞、朝日賞、文化功労者、日本学士院賞、藤原賞、文化勲章、Wolf賞、ペンジャミンフランクリンメダル、勲一等旭日大綬章などを受賞している。

本と云えば、今でも私の心に残っている本があります。

それは、私が旧制中学一年生の時に、大好きだったクラス担任の先生から病気のお見舞いにいただいた、『物理学はいかに創られたか』という本です。アインシュタインとインフェルトが、専門家でない人にもわかるようにと書いたものですが、読んでみるととても難しく、内容をきちんと理解したとは言えませんでした。物理学とはこういうことを考える学問なのかということが分かりました。私が物理学者になるきっかけの本という訳ではないのですが、大好きな先生がくれたものだから読んでみようという気になって読んで本で、印象深く私の心に残っています。

小学校高学年や中学生の皆さんには、ファラデーの『ロウソクの科学』をお勧めしたいと思います。古い本ですが、科学とはどういうものの考え方をするのかということをお教えられる良い本です。イギリスの王立協会では、毎年、各分野の最高の学者が一般の人にわかるように話をする「ファラデーレクチャー」というものがあり、その最初がファラデーの『ロウソクの科学』でした。これは、その話を本にしたものです。

面白い本ということでは、ジョージ・ガモフという物理学者が書いた『不思議の国のトムキンス』という物語があります。これは、物理の専門的な内容を分かりやすくおとぎ話のように書いてあります。

最後に、私から若いあなたたちに伝えたいことがあります。

先生や親に、これをやりなさいと言われたことをやるというのでは、本当に自分に合ったことをやっているのかどうかわかりません。一番大事なことは、自分に合ったものを見つけることです。そのためには、物おじしないで、新しいことを自分で試してみることです。そうしたら、これなら自分に合っているというものが見つかるかもしれません。そういうのを見つけたらしめたものです。自分がやりたいことをやっている時は疲れを感じないし、困難に出会っても負けないで乗り越えられます。自分に合ったものを見つけたのが一番大事な事なのです。

池原昭治(童絵作家)



日本漫画家協会会員、高松短期大学客員教授。
一九三九年生まれ。高松市出身。高松工芸高校卒業。
日本各地の祭りや民話を訪ね歩き、『民話絵』という独自の画風を確立。
テレビの人気番組「まんが日本昔ばなし」の原作・演出・作画に参加。二〇〇五年秋に再開された同番組では、担当した「きつねがわらった」が放映されている。一九九〇年郵政省ふるさと切手「通りゃんせ」の原画を担当。一九九一年狭山市立博物館の常設展示室の壁画と「狭山の絵本」コーナーを担当。一九九四年度環境庁イメージポスター制作担当。

みんな元気にしよるか？ 私は、元気で童や風景を描いています。ところで、君たちは今どんな本を読んでいますか。

私は仕事柄、日本の民話に関する本をよく読みます。昔ばなし集、伝説集などを読むと、同じお話でも県によって少し異なることに興味を持ち民話の舞台に出かけて行つては、絵に表すのです。

私が小学生の頃、親に買ってもらった『日本おとぎ話集』を夢中になって読みました。内容は、「桃太郎」「浦島太郎」「竹取物語」「さるかに合戦」「一寸法師」などの話でした。大人になって「桃太郎」「浦島太郎」の話が香川県にも語られているということを知り、驚き、うれしくなり、昔ばなしの語られた場所へ何度も行きました。子どもの頃読んだ本が今の私の仕事にすごく役立っています。活字だけの本を読んでいますと、自分だけのイメージが大きくふくらんできて頭の中にいろいろな絵が浮かんでくるのです。

宮沢賢治の本も好きです。『風の又三郎』の中で「どっどど どどどどどどどどど どどどど…」といった風の音が今も忘れられません。



川井郁子（ヴァイオリニスト・作曲家）



高松市（旧牟礼町）出身。高松第一高校卒業、東京芸術大学卒業、同大学院修了、大阪芸術大学芸術学部教授。
類い希なる感性と確かな表現力で、クラシックの枠を超えた音楽作りに才能を発揮。ソリストとして国内外のオーケストラや、海外のアーティスト、バレエ・ダンサーらともジャンルの枠を越えて幅広く共演。TV、CM、映画、舞台出演なども数多い。最新アルバムは「風が丘」。ホームページ <http://www.ikukokawai.com>

皆さん、はじめまして、ヴァイオリニストの川井郁子と申します。

私は皆さんと同じ香川県の小学校で学びました。

小学生の時から私は読書が大好きで、学校でも家でも時間がある度に夢中で読みふけていました。本はいつも私に自由に想像する楽しさを与えてくれました。また小説や伝記を読んでいると、人にうまく伝えられないような気持ちとか悩みにも大きな力をもらう事が沢山ありました。

さて、私がある頃一番好きだった小説は、シャーロット・ブロンテが書いた『ジェイン・エア』です。主人公のジェインと、彼女が施設で出会うエレンという女の子は、私にとって心の親友のような存在になりました。寂しい時や辛い時に、私は何度もこの本のお気に入りの部分を読み返していたのです。

また、コナン・ドイルの「シャーロック・ホームズ」シリーズも一度読み始めると夢中になってしまい、授業の開始や食事でも中断するのがなかなか難しいほどでした。

皆さんもこれから夢中で読めるような大好きな本、そして心の友達になるような本に沢山出会えますように！

読書の時間を取り入れながら、皆さんが有意義で楽しい小学校生活を送られる事をお祈りしています。

高畑淳子(女優)



高松市出身。劇団青年座に入団後、「セიმムタイム・ネクストイヤー」、「第二章」の舞台で芸術祭賞、紀ノ國屋演劇賞等、数多くの演劇賞を受賞。
最近では、ドラマ「白い巨塔」等、テレビ・映画・バラエティでも活躍中。

雨音を聞きながら、寝転がって本を読むのが、私は好きです。眠くなるとそのまま寝て、又起きて続きを読む。女優業と母親業に追われる毎日では、なかなかそんな一日はありませんが、たまの休みに読みたい本をそうやって読めた時は、とても豊かな時間を過ごせた気分になります。

そんな私も、小学校の頃は本を読むのが苦手で、マンガばかり読んでいました。小学校一年で転校することになった時、担任の先生が何か本をプレゼントしたいと言ったのです。一緒に本屋さんに行ったのですが、私はコミック雑誌の「なかよし」を買ってください、と言ってしまいました。がっかりした先生の顔が今でも忘れられません。

大人になった現在でも、早く続きを読みたくて仕方ない本もあれば、どうしても読み進めなくて途中でやめてしまう本もあります。

どうしてなのかしら？

そんな私のお勧めはこれ、「シャーロック・ホームズ」シリーズ。小学校五年生で、シャーロック・ホームズに出会った事が、本を好きになった一番のきっかけでした。特に『バスカビル家の犬』は、ちょっと不気味で、恐いのに面白い。是非読んでみてください。今回皆さんにお手紙を書くことになり、また『バスカビル家の犬』を読みました。が、やっぱり夢中で読んでしまいました。

夜寝る前、スタンドの明かりの中、どうぞコナン・ドイルの世界を旅してみてください。雨なんかふってたら、うーん、最高だと思っ。

中野美奈子なかのみなこ（アナウンサー）



一九七九年生まれ。丸亀市出身。丸亀高校卒業、慶応義塾大学商学部卒業、二〇〇二年フジテレビジョン入社。
現在の担当番組は、「めざましテレビ」、「IQサプリ」、「笑っていいとも増刊号」など。

アナウンサーという仕事を始めて驚いたことは、待ち時間が長いこと。

ロケのセッティングであったり本番までの空き時間であったり地方への移動など、そういう時に欠かせないのが読書なんです。

でも、長編大作を読んでもしまうと、面白くなってきたところで「スタジオ入ってください〜い」なんて呼ばれたりして、なかなか小説に入り込めないこともあります。

そんな時は、短編小説がぴったり！

昔から大好きな星新一ほしんいちさんの作品は全部読破したし、SFの持つスリルやその中にピリツと入っている現代社会に対する皮肉みたいなものが中学生ながら、考えさせられたことを覚えています。実は、『おいでてこい』『はやる店』などはテレビドラマ「世にも奇妙な物語」の原案になったりもしているんですよ。

そしてもう一つ、中学時代に出会い今でも会社においてある本が梶井基次郎かじいもとじろうさんの『檸檬（れもん）』。

その短編作品の中でも一番好きなのが「闇の絵巻」。その名の通り、闇の中で作者が感じた自然、気持ち、感触などがまさに絵巻のように綴つづられているんですが、読んでいるうちに、そこに沢があり、蛙かえるがいて、紅葉が舞い散ってくるような自分が闇の中に溶け込んでしまったような感覚におちいるんです。

アナウンサーという仕事をして感じることに、それは、平面のブラウン管を通して、いかに自分の感じたことをそのまま的確に伝えるか。匂においであり、その場の空気感であり、簡単そうですがごく難しかったりもします。

でもこの『檸檬（れもん）』にはそんな人の五感を鍛きたえてくれるようなそんな力があるような気がするし、いつ読んでも私に甘酸っぱい香りを与えてくれるんです。

松家卓弘まつか たかひろ（プロ野球選手）



一九八二年生まれ。高松市出身。高松高校卒業、東京大学卒業、二〇〇四年横浜ベイスターズ入団、投手、背番号32、右投げ。中学・高校・大学を通じエースとして活躍。中学三年生の県大会優勝、高校二年生の秋の県大会準優勝、同四国大会ベスト四、高校三年生の春の県大会準優勝。

みなさん、読書は好きですか？

僕は大学へ通学するときの電車の中で本を読むようになり、それ以来読書が好きになりました。今になると、もっと早くから本のすばらしさに気づけなかったのかと、もったいなく残念に思います。

本は様々な人の考えや体験を知ることができ、自分に新しい刺激や影響を与えてくれます。僕は毎日毎日野球の日々を過ごしていますが、自分の思うような結果が残せなくて悩んだり、厳しい練習に気持ちが悪く負けてしまったりになったりすることがあります。そんなときに、本は問題解決のヒントをくれたり、自分が悩んでいた問題が、ほんの些細なものであることに気づかせてくれたりします。みなさんが毎日通っている学校では教えてくれない大事なものを本は教えてくれます。

そんな僕がみなさんに読んでもらいたい一冊が、吉本ばなさんの『TUGUMI（つぐみ）』です。主人公は、病弱でひねくれたきれいな女の子「つぐみ」。彼女と一緒に過ごしたある夏の出来事を、つぐみのいとこである「まりあ」の視点から描いたストーリーです。やんちゃな「つぐみ」をとりまくあたたかい人たちと、切なくきらきらとした物語に、自分の心が安らぐような気がします。

中学生のみなさんは、勉強や部活、友達との遊びに夢中かもしれませんが、少し時間を作って読んでみてください。

脇 明子 (翻訳家)



岡山子どもの本の会代表、ノートルダム清心女子大学教授。
高松高校卒業、東京大学大学院人文科学研究科修了。
専門は児童文学、ファンタジー、読書問題。著書に『読む力は生きる力』(岩波書店)、翻訳に『不思議の国のアリス』(岩波書店)などがある。

私は子どものころから本を読むことが好きでしたが、数多く読みあさるのではなく、気に入ったものをじっくりと楽しむほうでした。翻訳の仕事をするようになって、よかったなあと思ったのは、そのところです。翻訳をするには、描かれている風景がありありと見え、人物の台詞がその人ならではの声で聞こえてくるまで読みこみ、それから日本語にしていかなくはなりません。そんなふうじっくり読めて、しかも見えてきたものを自分の言葉で表現できるなんて、こんなぜいたくな仕事はめったにないぞと思っています。

少年少女むきの物語の本を中心に、ずいぶんいろんなものを翻訳してきましたが、なかでもとりわけ訳しがいいのあった一冊を、みなさんにお勧めしたいと思います。それは、ラフカディオ・ハーンの世界とエッセイを選んで訳した『雪女 夏の日の夢』(岩波書店)です。

最初、ハーンの世界の翻訳をと頼まれたとき、私は乗り気ではありませんでした。すでに翻訳がありますし、日本の物語を英語で再話したものを日本語にもどしても、むなしんじゃないかと思ったのです。ところが、やってみると大違いでした。外国人の目で見えた日本は、知っているようでまるで違う不思議の国です。読みこむほどに見えてくる光景は、くらくらするほど新鮮でした。それを日本語で表現するのは大仕事でしたが、それまでにない喜びを味わうことができました。みなさんにもぜひ読んでいただきたいと思います。

あしはら
芦原すなお(作家)



一九四九年生まれ。観音寺市出身。観音寺第一高校卒業、早稲田大学第一文学部ドイツ文学科卒業、同大学院文学研究科英文学専攻博士課程中退。
一九九一年「青春デンデケデケデケ」で第百五回直木賞を受賞。著書に『ササノオ自伝』、『ミミズクとオリブ』などがある。また、高校時代の友人たちとロックバンド、「ロッキング・ホースメン」を結成（一九九一年）、コンサート活動も行っている。

本は何のために読むか。仕事のため、研究のため、知識を増やすため、読書感想文を書くため、見栄みえのため。それぞれ意味がある。だけど、ぼくが君に勧めたいのは、何のためでもない読書だ。あるいは、ただ楽しみのためだけにする読書だ。ぼくの考えでは、それこそがほんとうの読書なんだよ。

ぼくのうちには、お金はあまりなかったけど、本だけはたんとあった。本を読むのはとにかく楽しいことで、魔法の世界に遊ぶことだった。そんなだから大学は文学部を選んだけど、ちょっとあてが外れた。研究のためにする読書は楽しくなかった。再び楽しくなったのは、学校を出てただ楽しみのために気ままな読書をするようになってからだ。

君に勧めたいのはそういう読書だ。読書の楽しさを知らないで人生を終えるのはいかにももったいない。そして、そういう読書には実利的な効用もある。ぼくの定義では、教養とは他者の身になって考えるための想像力のことだが、その想像力を養うのは読書が一番だ。ただしそれはあくまでも結果であって、ただ面白がって読んでいけば、自然に想像力が豊かになるといふことなんだよ。

面白そうだと思う本を何でもいいからどんどん読むといい。一冊、推薦してあげる。村上春樹の『羊をめぐる冒険』だ。文章のキレイ、比喩ひゆの巧みさ、ストーリーのファンタスティックなところなど、まったく申し分ない。ぜひ魔法の世界に遊んでくれたまえ。

石毛宏典いしげ ひろみち（四国アイランドリーグ代表）



一九五六年生まれ。千葉県出身。市立銚子高校卒業、駒澤大学卒業、プリンスホテル―西武ライオンズ―福岡ダイエーホークス、一九九六年現役引退。西武在籍十四年間にリーグ優勝十一回、日本一を八回達成した西武黄金時代のチームリーダー。プロ一年目から首位打者を争い新人王を獲得、一九八六年バ・リーグMVP、一九八八年日本シリーズMVP、ベストナイン八回、ゴールデングラブ賞十回、ダイエー二軍監督を経て二〇〇二年オリックスブルーウェーブ監督。二〇〇四年四国アイランドリーグを設立。プロ野球に夢をかけてチャレンジする選手たちの支援、育成事業に尽力している。

何か新しいことに挑戦しようとするとき、予想していなかった問題に直面し壁にぶつかったりして、挫折させつしかけてしまいがちになりますが、その際特効薬となるのが、この本の表題ともなっている『意地を通せば夢は叶かなう！』の一念だと思っています。

この本の著者、河内敏光かわちとしみつさんはバスケットボール選手として長い間活躍され、現役引退後は監督として辣腕らつわんをふるった方。現在はバスケットボールプロリーグ、bjリーグを創設し、バスケットボール界のみならず、スポーツ界に新風を巻き起こしている方です。私も二〇〇四年、四国アイランドリーグを創設しましたが、そのきっかけは「若者たちに夢に向かってチャレンジする場を与えてあげたい」という想いからでした。そしてその夢に向かって努力し続ける意地。夢を見つけ、一つ一つ実現していくこと。その積み重ねがあるからこそ、進歩し続けることができるのです。本書の中で、河内かわちさんは、「何か物事を成し遂げようとするとき、チャレンジ精神が必要不可欠。いざという時、躊躇ちゅうちよなくリスクを選択することができるのも、明確な目的意識、夢があったから。」と記しています。

何もしたいことがない。何も興味がない。そんな人生よりも、困難を一つ一つ乗り越え夢を実現することで、大きな喜びを味わうことのほうがはるかに面白い人生となるのではないのでしょうか。私は日頃、サインを依頼された際、「根心こんしん（こんん）」と記します。辞書にはこの言葉は存在しません。何故なら自作した言葉だからです。人の心の根っこにある想い。木は目に見える部分はとても大きなものですが、それも目に見えない根っこがあるからこそ存在するものなのです。人間の根っここの心。意地もその一つかもしれません。

林 康子（オペラ歌手・声楽家）



東かがわ市（旧大内町）出身。東京芸術大学、同大学院を経て、イタリア政府の奨学生として、ヴェルディ音楽院、ミラノ・スカラ座付属オペラ科に学ぶ。一九七二年に日本人としては初めて「蝶々婦人」でスカラ座デビュー。同年ロッシーニ生誕百八十年記念コンクールの優勝をきっかけに世界的に注目され、第一線で三十年余にわたり活躍。サントリー賞、毎日芸術賞、ジロイオペラ大賞、よんでん芸術文化賞などを受賞し、イタリアでも「金の射手座賞」など数多くの賞を受賞。一九九七年東京芸術大学に招かれ、二〇〇二年からは同大学教授に就任するとともに、毎日音楽コンクール運営委員も務める。県の「KAGAWAアンバサダー」（名誉大使）としても活躍中。

イタリア人の主人は高等学校時代が一番幸せだったそうで、好きな読書に時を忘れ、トルストイの長編『戦争と平和』、『アンナ・カレーニナ』をはじめ、トーマス・マンなどに世界を広げていったとか。私のように、受験が重くのしかかり、長期に読書やスポーツを断ち切る決心をせざるを得なかった者にとってうらやましい限りです。

イタリア人の中には幅広く本職に近い趣味を持つ人を多く見ます。人生を広く体験できているようです。日本も受験地獄を体験しなくてすむようになったらと心より祈ります。

私なりに雑ではありますが、太宰治、夏目漱石、芥川龍之介、中原中也などを读んだのですが、私の性格では何を言っているのかはつきりわからず、むしろスタンダールの『赤と黒』とかドストエフスキーの『罪と罰』のような劇的なものの方が一気に読めた覚えが残っています。後のオペラ歌手としての感覚がすでに目覚めていたのでしょうか。

読書とは一生続くものでしょう。私などは、三十年余、オペラを一ヶ月で一本のペースで覚えることも稀でなく、脚本と音楽を通して、相手役の部分も全て覚えながら、自分の役はどういう人間かを知る努力をしたり、役の歴史上の具体性の探求、又脚本だけでなく原本での人間像をひもといてみます。

原本と脚本家との人間像の違いはよくあることで非常に興味深いです。歴史上の人物が登場することも多く、私なども色々な人物を演じてきました。皆様は、オペラの中に、アン・ボレーン（ヘンリー八世の二人目の王妃）や、エリザベス一世に処刑されたメアリー・スチュアート（スコットランドの女王）が主役のオペラなどがあることをご存知ですか？日本人である私が、これらの役をこなすことができたいのは、私なりの読書によっているのです。よく考えてみると、読書をしながら大好きな仕事を続けることができた私は、本当に幸せだと思ふ次第です。

ご紹介いただいた本の一覧

手紙の中でご紹介いただいた本を表にまとめました。他の学年向けの本でも、読めそうだと思う本があれば読んでみてください。

高校生の皆さんへ			中学生の皆さんへ			小学校	四・五・六年生の皆さんへ			香川の子どもたちへ			ご紹介いただいた方					
林 康子	石毛宏典	芦原すなお	脇 明子	松家卓弘	中野美奈子	高畑淳子	川井郁子	池原昭治	小柴昌俊									
ドストエフスキー	スタンダール	トルストイ	河内敏光	村上春樹	ラフカディオ・ハーン	吉本ばなな	梶井基次郎	星 新一	コナン・ドイル	コナン・ドイル	シャーロット・ブロンテ	宮沢賢治	—	ジョージ・ガモフ	ファラデー	アインシュタイン、インフェルト共著	著 作 者	書 名
『罪と罰』	『赤と黒』	『戦争と平和』、『アンナ・カレーニナ』	『意地を通せば夢は叶う！』	『羊をめぐる冒険』	『雪女 夏の日の夢』	『TUGUMI (つぐみ)』	短編集『檸檬 (れもん)』の中の「闇の絵巻」	『おいでてこい』、『はやる店』など	『バスカビル家の犬』	『シャーロック・ホームズ』シリーズ	『ジェイン・エア』	『風の又三郎』	『桃太郎』、『浦島太郎』など日本のおとぎ話	『不思議の国のトムキンス』	『ロウソクの科学』	『物理学はいかに創られたか』		

ご紹介いただいた本の読書記録

読んだ本の感想を簡単にまとめてみましょう。また、興味を持った作家がいたら、ほかにどんな作品を書いているかなど、自分で調べて読んでみましょう。

年月日	書名	感想

県内の公共図書館一覧 (平成18年1月10日現在)

図書館名	開館時間	休館日	所在地	電話・FAX
香川県立図書館	火～金 9:00～19:00 土・日・祝 9:00～17:00	月曜日 (月曜日が祝日のときは最も近い休日でない日)	〒761-0393 高松市林町2217-1	TEL:087-868-0567
				FAX:087-868-0607
高松市中央図書館	火～金 9:30～19:00 土・日・祝 9:30～17:00	月曜日、 毎月末	〒760-0014 高松市昭和町1-2-20	TEL:087-861-4501
				FAX:087-837-9114
高松市松島図書館	火～金 9:30～19:00 土・日・祝 9:30～17:00	月曜日、 毎月末	〒760-0068 高松市松島町1-15-1	TEL:087-833-7727
				FAX:087-861-7981
高松市牟礼図書館	火～金 9:30～19:00 土・日 9:30～17:00	月曜日、 祝日、 毎月末	〒761-0121 高松市牟礼町牟礼130-2	TEL:087-845-4113
				FAX:087-845-4113
高松市国分寺図書館	火～金 9:30～19:00 土・日・祝 9:30～17:00	月曜日、 毎月末	〒769-0192 高松市国分寺町新居1298	TEL:087-874-6309
				FAX:087-874-5867
丸亀市立中央図書館	火～金 10:00～18:00 土・日 10:00～17:00	月曜日、 祝日、 毎月末	〒763-0022 丸亀市浜町80-1	TEL:0877-22-3746
				FAX:0877-22-3775
丸亀市立綾歌図書館	火～金 10:00～18:00 土・日 10:00～17:00	月曜日、 祝日、 毎月末	〒761-2405 丸亀市綾歌町栗熊西1638	TEL:0877-86-5915
				FAX:0877-86-5045
丸亀市立飯山図書館	火～金 10:00～18:00 土・日 10:00～17:00	月曜日、 祝日、 毎月末	〒762-0087 丸亀市飯山町西坂元547-1	TEL:0877-98-2666
				FAX:0877-98-7721

図書館名	開館時間	休館日	所在地	電話・FAX
坂出市立大橋記念図書館	火～金 9:00～18:00 土・日 9:00～17:00	月曜日、 祝日、 毎月末	〒762-0043 坂出市寿町1-3-10	TEL:0877-45-6677
				FAX:0877-45-6678
普通寺市立図書館	月～金 10:00～18:00 土・日・祝 9:00～17:00	毎月末	〒765-0013 普通寺市文京町3-3-1	TEL:0877-63-5188
				FAX:0877-63-5188
観音寺市立中央図書館	火～金 9:00～18:00 土・日 9:00～17:00	月曜日、 祝日	〒768-8601 観音寺市坂本町1-1-1	TEL:0875-23-3960
				FAX:0875-23-3961
観音寺市立大野原図書館	火～金 9:00～18:00 土・日 9:00～17:00	月曜日、 祝日	〒769-1611 観音寺市大野原町1368-1	TEL:0875-54-5715
				FAX:0875-54-5029
観音寺市立豊浜図書館	火～金 9:00～18:00 土・日 9:00～17:00	月曜日、 祝日	〒769-1602 観音寺市豊浜町和田浜1531-1	TEL:0875-52-1206
				FAX:0875-52-3109
東かがわ市とらまる図書館	火～日 9:00～17:00	月曜日(月曜日が祝日のときは最も近い祝日でない日)、 毎月末	〒769-2604 東かがわ市西村1155	TEL:0879-25-0400
				FAX:0879-25-0900
さぬき市志度図書館	火～日 10:00～18:00	月曜日、 祝日、 毎月末	〒769-2101 さぬき市志度561-1	TEL:087-814-2678
				FAX:087-894-0121
さぬき市寒川図書館	火～日 10:00～18:00	月曜日、 祝日、 毎月末	〒769-2321 さぬき市寒川町石田東甲329	TEL:0879-43-6930
				FAX:0879-43-6930

※休館日は、上の表に書いている日のほかに、年末年始や、図書を整理する日などがありますので、各図書館にお問い合わせください。

県内の公共図書館一覧（平成18年1月10日現在）

図書館名	開館時間	休館日	所在地	電話・FAX
三豊市 高瀬町図書館	火～日 9:30～18:00	月曜日、 祝日(月曜日 に当たるとき はその翌日)、 毎月末	〒767-0011 三豊市高瀬町 下勝間2347-1	TEL:0875-72-5631
				FAX:0875-72-5631
三豊市 山本町図書館	火～日 9:30～18:00	月曜日、 祝日(月曜日 に当たるとき はその翌日)、 毎月末	〒768-0103 三豊市山本町 財田西154	TEL:0875-63-1041
				FAX:0875-63-1043
三豊市 三野町図書館	火～日 9:30～18:00	月曜日、 祝日(月曜日 に当たるとき はその翌日)、 毎月末	〒767-0032 三豊市三野町 下高瀬569-2	TEL:0875-73-3121
				FAX: —
三豊市 豊中町図書館	火～日 9:30～18:00	月曜日、 祝日(月曜日 に当たるとき はその翌日)、 毎月末	〒769-1506 三豊市豊中町 本山甲236	TEL:0875-62-6430
				FAX:0875-62-6431
三豊市 詫間町図書館	火～日 9:30～18:00	月曜日、 祝日(月曜日 に当たるとき はその翌日)、 毎月末	〒769-1101 三豊市詫間町 詫間1338-5	TEL:0875-83-6828
				FAX:0875-83-6828
三豊市 仁尾町図書館	火～日 9:30～18:00	月曜日、 祝日(月曜日 に当たるとき はその翌日)、 毎月末	〒769-1407 三豊市仁尾町 仁尾丁296-1	TEL:0875-56-9565
				FAX:0875-56-9507
内海町立 図書館	火～金 10:00～18:00 土・日 10:00～17:00	月曜日、 祝日、 毎月末	〒761-4411 小豆郡内海町 安田甲24-1	TEL:0879-82-0291
				FAX:0879-82-0298

図書館名	開館時間	休館日	所在地	電話・FAX
土庄町立 中央図書館	火・木～日 9:00～18:00 水 9:00～19:00	月曜日、 祝日、 毎月末	〒761-4121 小豆郡土庄町 潤崎甲1400-1	TEL:0879-62-0273
				FAX:0879-62-2922
三木町 文化交流プラザ	火～日 10:00～18:00	月曜日、 毎月末	〒761-0703 木田郡三木町 大字鹿伏360	TEL:087-898-9222
				FAX:087-898-9666
綾南町立 綾南図書館	火～日 9:00～17:00	月曜日、 祝日(月曜日 に当たるとき はその翌日)	〒761-2305 綾歌郡綾南町 大字滝宮469-5	TEL:087-876-0818
				FAX:087-876-0020
ライブラリー うたづ	火～日 9:30～18:00	月曜日、 毎月末	〒769-0206 綾歌郡宇多津町 浜六番丁88	TEL:0877-49-8025
				FAX:0877-56-7282
多度津町立 明徳会図書館	火～日 9:00～18:00	月曜日、 祝日、 毎月末	〒764-0011 仲多度郡多度津町 栄町3-1-56	TEL:0877-32-3246
				FAX:0877-32-5132
金刀比羅宮 図書館	火～日 9:30～17:00	月曜日	〒766-8501 仲多度郡琴平町 892	TEL:0877-75-2121
				FAX:0877-75-2125

※休館日は、上の表に書いている日のほかに、年末年始や、図書を整理する日などがありますので、各図書館にお問い合わせください。

手紙を書いてくださった方に返事を出しましょう！

手紙を書いてくださった方は、皆さんから、手紙を読んだ感想や、手紙で紹介した本を読んだ感想などを書いた返事が来るのを楽しみにしています。返事は県教育委員会からお届けしますので、学校の先生に、返事の出し方などを教えてもらってください。また、返事には、必ず次のことを書いてください。

- 届けてもらいたい人の名前（例、○○○○様へ）
- 学校名、学年、氏名

※先生方へのお願い

各学校での読書指導などに、この「好きな一冊と出会う手紙」を活用してください。また、児童生徒が返事を書くに当たっては、子どもの読書活動推進のために手紙を書いてくださったことを踏まえてご指導いただき、各学校で取りまとめ県教育委員会に送付していただくようお願いいたします。

【県教育委員会への締切は、平成十八年五月十五日です。】

【あて先】

〒七六〇―八五八二 高松市天神前六一―
香川県教育委員会事務局生涯学習課
「好きな一冊と出会う手紙」係

表紙デザイン 県立高松工芸高校教諭 小西博子

サンポート高松の目と鼻の先にある北浜アリー。

廃墟同然の昭和初期に建てられた古い倉庫街が

おしゃれな郷愁あるスポットとして見直されている。

この北浜アリー的光景を表紙デザインの題材に使い、

明日への希望と期待感を表現した。

第三十七回日展（二〇〇五）出品作品「日なた色の刻」小西博子作

アレンジしたものである。